

# ハイマダラノメイガ情報第1号

平成21年8月4日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 1 発生状況

- (1) 長久手町に設置したハイマダラノメイガのフェロモントラップでは、7月の1か月間に19頭(平年32.3頭)誘殺され、ほぼ平年並の誘殺数でした(図1)。
- (2) 東海地方の気象は、8月3日ごろに梅雨が明け、向こう1か月は平年と比べ晴れる日が少ない見込み(1か月予報 名古屋地方气象台7月31日発表)で、ハイマダラノメイガの生育に好適な気象条件ではありませんが、例年8月以降急増するので注意が必要です。

## 2 防除対策

- (1) 生育初期に加害されると芯止まりになるので早期発見、早期防除に努めましょう。
- (2) は種時から定植時までに粒剤の散布や水和剤、水溶剤のかん注を実施(農薬使用基準に注意)し、その後、散布剤で追加防除しましょう(表)。
- (3) 育苗時には防虫ネットなどで覆い、成虫の侵入を防ぐよう心がけましょう。

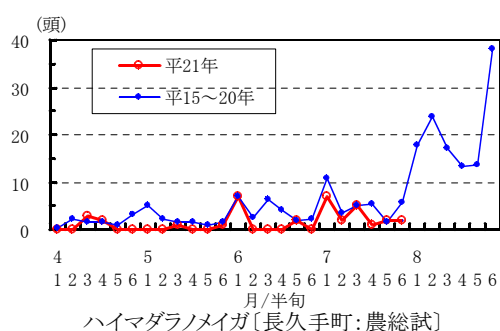


図1 フェロモントラップによる誘殺数(長久手町)

図2 ハイマダラノメイガ(左:成虫、右:幼虫)

表 ハイマダラノメイガに対する主な防除薬剤と使用基準

作物名	薬剤名	希釈倍数、使用量、使用方法	収穫前日数 (使用時期)	使用回数
キャベツ	ダントツ粒剤	0.25g/株を覆土後セルトレイに散布	は種時	1回
	プリンス粒剤	20~30g/セルトレイ均一散布	は種時~定植前	1回
	プリンスフロアブル	100倍液0.5リットル/セルトレイかん注	定植前まで	1回
	スタークル/アルバリン	50~100倍液0.5リットル/セルトレイ	定植前日~定植時	1回
	顆粒水溶剤			
	モスピラン粒剤	0.5g/株を株元散布	定植前日~定植当日	1回
	エルサン乳剤	1,000~2,000倍	14日前	2回
ハチハチ乳剤	1,000~2,000倍	14日前	2回	
トルネードフロアブル	2,000倍	7日前	2回	
ダイコン	エルサン乳剤	1,000~2,000倍	30日前	2回
	ハチハチ乳剤	1,000~2,000倍	14日前	2回
	カスケード乳剤	2,000~4,000倍	14日前	3回
	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	7日前	2回
ハクサイ	モスピラン粒剤	0.5g/株を株元散布	定植前日~定植当日	1回
	プリンスフロアブル	100倍液0.5リットル/セルトレイまたは ペーパーポットにかん注	定植前まで	1回
	エルサン乳剤	1,000~2,000倍	21日前	3回
	ハチハチ乳剤	1,000~2,000倍	14日前	2回
	スピノエース顆粒水和剤	2,500~5,000倍	3日前	3回